

行仙宿巡回と浦向道(旧通信道)佐田ノ辻(浦向)の点検巡視

◇実施日：平成28年02月11日(木・祝) 快晴・無風

◇参加者：青木宏充(前泊・泊一旦)、川島 功、沖崎吉信、橋本 梓

児嶋道夫、畑林秀味、畑林清子、大江加予子、高階美根子、

梶野照雄、中川治平・定子夫妻、長野広和・トシ子夫妻、

計14名。

2月中旬は、寒さが厳しい時節なのですが、本日は移動性高気圧に覆われ快晴・無風の絶好の登山日和に恵まれた。

熊野川町日足の中前宅に立寄り、寄贈毛布30枚を積み込む。浦向で梶野・高階車と合流し、浦向道登山口手前の下北山村森林組合倉庫横の駐車場に畑林・高階車は駐車。沖崎・川島・梶野車に分乗し登山口へ。暖冬のため、R1425号線の日陰の1箇所だけに僅かに路面にまばらに積雪があった以外は、登山口まで路面に積雪は無かった。又、しばらく雨が降っていなかった様で水溜りも無い。落石は、2カ所で道端に避けた。毛布は、沖崎・川島・梶野・児嶋・畑林秀・畑林清・橋本氏が手分けして背負い子等で担ぎ上げる。第二ベンチ下の尾根の日陰に残雪在り。



登山口で荷作り



聖徳太子像にお供え(海苔)



般若心経・勤行

川島は、久しぶりの歩行と荷で汗びっしょりになり、休みながら登る。

11時前に全員行仙宿着。柳川市・吉開賢淳師から託ったお供え「海苔」を聖徳太子像、役行者像にお供えし、中川さん導師にして皆で般若心経を読経する。尚、御下がり海苔は、下山前に参加者に分配した。

日当たりの良い東側屋外に全員集まり中川夫妻紹介後、沖崎氏より本日の作業予定の指示がある。

青木・畑林清・高階・中川夫妻は、行仙岳山頂へ。

大江・沖崎氏は宿内の整理・清掃、行仙宿の毛布は約130枚となった。橋本・川島はチェーンソーの点検等。梶野・畑林秀・児嶋氏は、屋根及び樋上の落葉を掃除機あるいは長柄箒で払い落して下さる。屋根のペンキ塗替は、急ぐ必要ないとのこと。

室内には、厳しい寒さで凍結し、破裂しそうに膨らんだビール缶が在り、暖冬とはいえ先日の冷え込みは厳しかったことが伺えた。

11時半前に、新宮市「まんぷく食堂」店主・長野夫妻が登って来られ、行仙岳山頂へ先行者がいると話したら登りに行かれる。

12時10分頃に行仙岳山頂組が戻り、ストーブを囲んで昼食、程なく長野夫妻も戻られ一緒に昼食された。



屋根・樋上の落葉掃除

昼食歓談中

本日の参加者・行仙宿玄関前

13時前に、浦向道(佐田ノ辻・浦向)の点検巡視班8名(児嶋・橋本・大江・畑林清・高階・中川治・長野トシ子)は、出発準備をされ全員で記

念撮影後、13時15分過ぎに出発された。尚、児嶋宅で使用する木炭2箱が担ぎ下ろされた。下山時の外気温11℃。
 車回送班6名(川島・畑林秀・青木・梶野・長野広和・中川定子)は、戸締りを確認して13時30分下山へ。梶野・川島は、補給路と浦向道分岐から浦向道を辿り、倒木3本をチェーンソー処理して分岐に戻り、補給路登山口へ下りる。



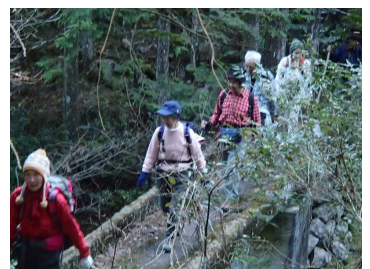
浦向道の倒木2 チェーンソーで倒木3処理 倒木3処理後撮影(梶野)

車5台は、登山口から浦向登山口へ移動し待機(14時45分着)。
 点検巡視班8名は、登山口手前のコンクリート製・十津川橋を渡り、元気に15時30分に駐車場着。

浦向登山口から約20分の所に杉倒木1本(くぐり抜け可)あった。又、杉の落葉・落枝が多いが支障・懸案箇所は無いとの報告がある。
 登山口手前の駐車場で今後の行事予定等の終礼を行い流れ解散となる。

行動タイム

新宮8:05→9:35補給路登山口9:45→10:50行仙宿→11:00宿内外の清掃・行仙岳往復→12:10昼食12:55→浦向道点検巡視班行仙宿13:15→15:30浦向登山口。車回送班:行仙宿13:30→倒木処理→14:25登山口14:30→14:45浦向登山口。浦向登山口駐車場15:45→16:50新宮。



浦向道点検巡視班出発!

浦向登山口手前の十津川橋

登山口駐車場にて



行仙岳山頂にて(撮影:青木)



終礼解散前 (撮影:梶野)

寄贈品

吉開賢淳師:行者堂お供え(海苔)2箱。
 中前 偉:毛布30枚(行仙宿)。

(記 川島)